



みやき町

こんにちは

議会

です。

Contents ・ 主な内容 ・

臨時会・3月定例会	2
令和3年度予算成立！	4
委員会審査報告	6
一般質問・9名が町政を問う	10
編集後記ほか	20

各庁舎、こすもす館ロビーに設置のテレビで議会中継を視聴できます。

また、スマートフォンやタブレット端末でもインターネット議会中継を視聴できます。

[みやき町議会中継](#)

[検索](#)



令和3年 第1回臨時会 会期2月10日



議案及び採決結果

件名と主な内容（件名は一部省略しています）	
専決処分の承認	ふるさと寄附金基金特別会計補正予算（第5号） 【賛成13、反対1】 〃（第6号） 【全員賛成】 【内容】 ふるさと寄附金の増に伴い、返礼品等の関連経費を補正
	一般会計補正予算（第8号） 【内容】 6,301万3千円を追加し、200億2,666万6千円に メディカルコミュニティみやきプロジェクト複合施設整備に伴う庁用器具の購入費、新型コロナウイルスワクチン接種対策に伴う接種事務に要する経費
補正予算	ふるさと寄附金基金特別会計補正予算（第7号） 【内容】 2,994万円を追加し、62億5,905万3千円に メディカルコミュニティみやきプロジェクト複合施設整備に伴う施設内の庁用器具購入の財源繰出としての増額

令和3年 第1回定例会（3月） 会期3月1日～3月17日

主な議案及び採決結果

あらゆる差別の撤廃と人権擁護に関する条例の一部改正 【賛成11・反対2】
【内容】 部落差別の解消の推進に関する法律が平成28年12月16日に公布・施行され、現在もなお部落差別が存在するとともに、情報化の進展に伴って差別に関する状況の変化が生じていることを踏まえ、差別の解消に関し、基本理念を定め、並びに国および地方公共団体の責務を明らかにするとともに、相談体制の充実等について定めたもの

物品売買契約の締結 【賛成7、反対6】	物品売買契約の締結 【全員賛成】
メディカルコミュニティセンター施設備品購入事業 【内容】 6月26日開館予定のメディカルコミュニティセンター内の庁用器具購入 ◇契約の相手方：鳥栖市（株）クキナミ ◇契約金額：2,896万9,303円（含消費税） ◇納入期間：R3.5.6～R3.6.10	町立小中学校学習者用端末整備事業 【内容】 タブレット端末603台分の購入 ◇契約の相手方：佐賀市 西日本電信電話（株）佐賀支店 ◇契約金額：2,871万円（含消費税） ◇契約期間：R3.3.3～R3.9.30
	

町道の認定 【全員賛成】	教育委員会委員の任命 【同意】
<p>【路線名】 <small>まえ だ ばる よし は ら せん</small> 前田原吉原線</p> 	<p>◇ (再任) <small>いかり みねお</small> 碓 峯雄 氏 (北茂安地区)</p>  <p>【教育委員会制度の仕組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の学校教育、社会教育、文化、スポーツ等に関する事務を担当する機関として全ての都道府県および市町村等に設置。 ○首長から独立した行政委員会の位置付け。 ○教育行政における重要事項や基本方針を決定し、それに基づいて教育長が具体の事務を執行。 ○教育委員は、地方公共団体の長が議会の同意を得て任命。任期は4年で、再任可。 ○教育長は、地方公共団体の長が議会の同意を得て任命。任期は3年で、再任可。

令和2年度 補正予算【全議案 可決】		
会計の名前	補正額	総 額
一般会計補正予算(第9号)	△4億5,379万9千円	195億7,286万7千円
国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	△2億2,694万5千円	37億6,643万3千円
下水道事業特別会計補正予算(第5号)	△1億2万2千円	17億96万8千円
グリーンパーク推進整備事業基金特別会計補正予算(第2号)	△9万2千円	6,498万3千円
後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	1,417万3千円	4億4,570万9千円
ふるさと寄附金基金特別会計補正予算(第8号)	△1億9,940万3千円	60億5,965万円

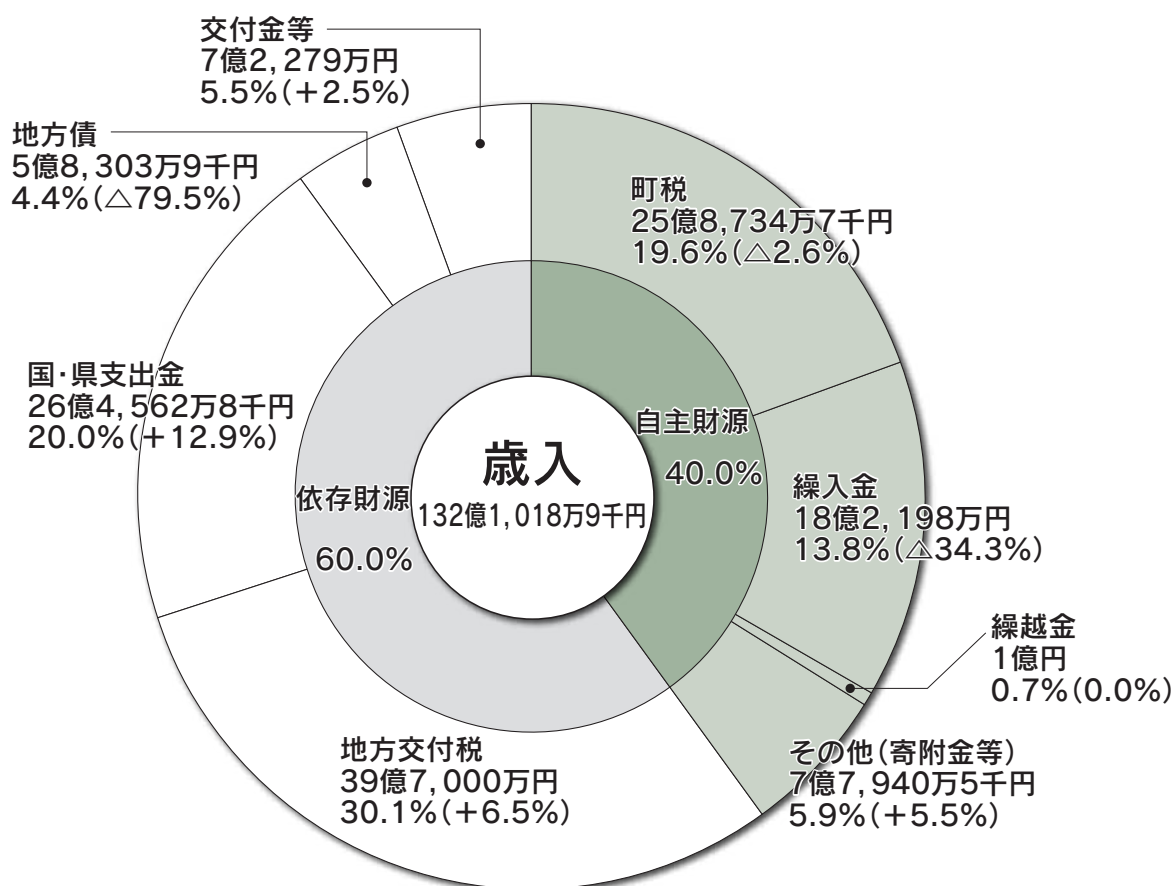
議会会議規則の一部を改正する規則 【全員賛成】
<p>【内容】 議員活動と家庭生活との両立支援策をはじめ、男女の議員が活動しやすい環境整備の一環として、出産、育児、介護など議員として活動するに当たっての諸要因に配慮するため、育児、介護など議会への欠席事由を整備するとともに、出産については母性保護の観点から出産に係る産前・産後の欠席期間を規定すること等</p>

令和3年度予算が成立しました！

一般会計予算 132億1,018万9千円
 〈前年度と比較して 26億7,519万円の減額〉

重点 目 標	●健幸長寿のまちづくり推進	●子育て支援のまちづくり推進
	●定住総合対策の推進	

◆一般会計 歳入の特徴



注) 表示単位未満を四捨五入しているため
各項目の合計額が一致しないことがあります。

カッコ内は対前年比 (ポイント増減)

◆基金 (預金) の状況 (普通会計)

	令和3年度末 見込残高	令和2年度末 見込残高	令和3年度 当初予算積立額	令和3年度 当初予算取崩額
財政調整基金 減債基金	34億2,257万7千円	39億6,805万8千円	5,340万円	5億9,888万1千円
特定目的基金	85億127万6千円	86億6,524万2千円	31億4,122万円	33億518万6千円

◆令和3年度一般会計予算（歳出）の注目する項目

四季彩の丘みやき交流拠点整備事業	2,009万円
メディカルコミュニティセンター運営事業	4,906万1千円
出生祝金支給事業	1,404万円
産前産後サポートステーション事業	1,724万4千円
子どものための教育・保育事業	8億7,469万6千円
放課後児童健全育成事業	5,566万円
子どもの医療費助成事業	9,599万5千円
予防接種事業	1億721万7千円
がん・結核検診事業	3,044万6千円
健康教室等支援事業	1,972万7千円
介護予防事業	1,451万6千円
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	9,795万8千円
天建寺団地建替事業	1億9,534万円

◆町債（借金）の状況（一般会計）

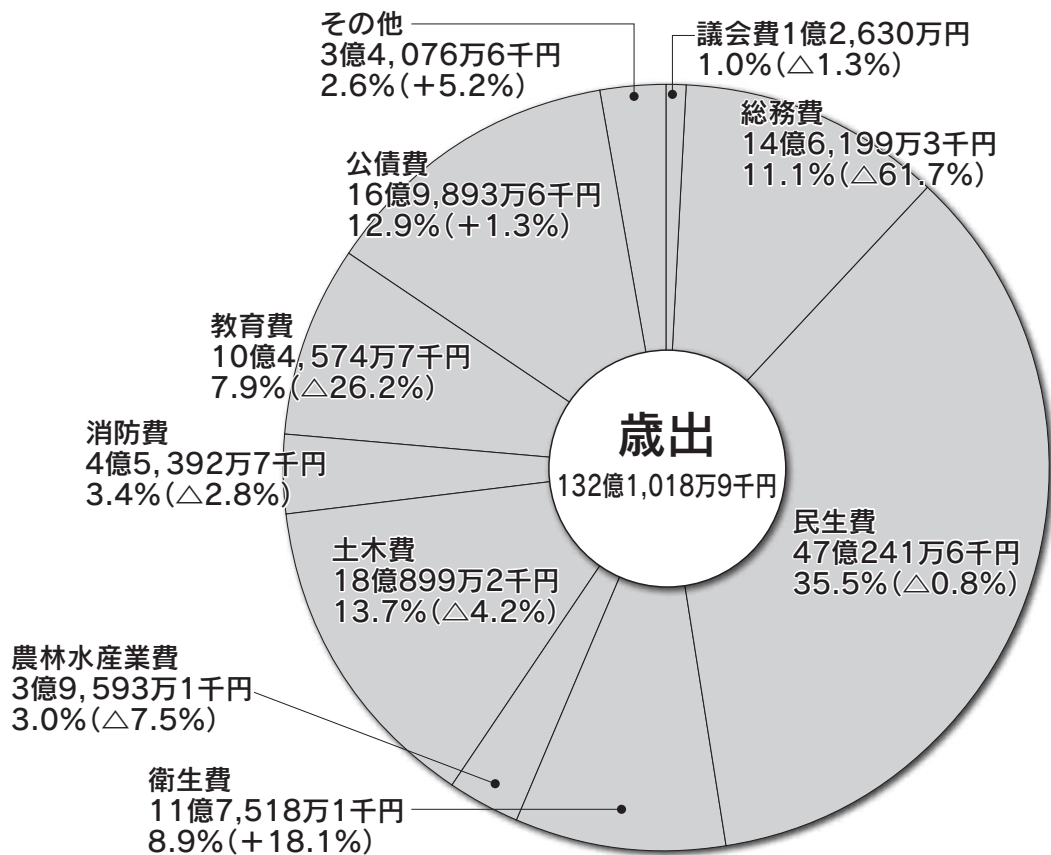
令和3年度末借入金見込残高
164億8,042万5千円

令和3年度返済額
16億9,823万6千円

【返済額の内訳】

・元金 16億2,472万7千円
・利息 7,350万9千円

◆一般会計 歳出の特徴



注) 表示単位未満を四捨五入しているため
各項目の合計額が一致しないことがあります。

カッコ内は対前年比（ポイント増減）

◆令和3年度 全会計予算

会計の名前	令和3年度	前年度増減額	採決結果
全会計総額予算額	250億8,986万2千円	△6億7,487万6千円	
一般会計	132億1,018万9千円	△26億7,519万円	賛成 10、反対 4
国民健康保険特別会計	36億9,482万6千円	△1億9,132万6千円	全員賛成
後期高齢者医療特別会計	4億5,096万1千円	2,149万8千円	全員賛成
下水道事業特別会計	14億704万8千円	△3億7,762万3千円	全員賛成
工業用地取得造成事業特別会計	8,239万円	78万1千円	全員賛成
グリーンパーク推進整備事業基金特別会計	7,849万6千円	1,342万1千円	全員賛成
住宅用地取得造成事業特別会計	432万円	△2,836万5千円	賛成 13、反対 1
ふるさと寄附金基金特別会計	61億6,163万2千円	25億6,192万8千円	賛成 12、反対 2

町民1人当りの予算額
(全会計総額予算額÷年度末人口)

約98万円

△約3万円

総務文教常任委員会 当初予算審査の結果及び所見（抜粋）

（1）一般会計予算（分割付託分）〈賛成多数（賛成3・反対1）〉

①町税全体では、収入減が見込まれる。租税負担の公平性の面からも安易に不納欠損処理をせず、法的措置も視野に入れた徴収強化を行い、徴収に当たっては目標額を掲げ努力すべきだ。

②普通交付税は、合併支援措置が終了し、本年度より一本算定へ移行した。今後一層の自立した財政運営を求められる時期を迎えており、計画的な行財政運営と財政の効率化により財政の健全化に努めるべきだ。

③企業版ふるさと納税は、年間7億3千万円の獲得を目安額として定めている。目標事業の推進のためにも企業版ふるさと納税の獲得に向け、特段の努力を図るべきだ。

④市村清記念メディカルコミュニティセンターは、6月に開館予定である。全ての町民が、自分の生活習慣に対する意識を高め、健康の維持・増進に取り組んでもらえる「健康長寿」の拠点施設を目指すことを望む。



⑤持丸古民家整備事業は、初期目的の地域コミュニティ、農業体験、六次産業化等の拠点施設としての具体的な計画作成、事業推進を図るためにも早急に持丸古民家の設置条例、施行規則の制定を図るべきだ。



⑥町内小中学校においては、学習者用端末整備事業の推進により、令和3年9月末には、全児童生徒一人一人がそれぞれ端末を持つこととなる。早急にタブレットPCの活用指導力向上のための研修充実を図り、教職員の指導力、スキルアップを図るべきだ。

⑦小中学校給食費は、子育て世代が抱える経済的負担を軽減し、安心して子育てできる環境の整備を図り、定住促進に寄与することを目的に無償化されている。給食材料費の公費負担とする公会計への移行について、会計方法等を整理し検討すべきだ。

⑧まちづくりいきいき女性クラブ地区推進員謝金は、215万2千円となっている。各地区における温かい人間関係を取り戻すため、女性パワーを結集したこの事業の全地区実施を望む。また、事業を担う推進員相互の連携策の構築が望まれる。

（2）グリーンパーク推進整備事業基金特別会計予算〈全員賛成〉

①グリーンパーク推進整備事業基金特別会計の事業費の財源は、グリーンパーク推進整備事業基金の繰入金である。今後の事業推進に当たっての財源の確保、事業の縮小・削減の検討も踏まえながら適正化を図るべきだ。

産業建設常任委員会 当初予算審査の結果及び所見（抜粋）

（１）一般会計予算（分割付託分）〈全員賛成〉

①住宅使用料について、悪質な高額滞納者については、法的措置による対応を進めているということであるが、今後このような高額滞納者を生じさせないよう、連帯保証人への督促強化、強制的な早期の立ち退き等を執行するなど滞納額が高額とならないうちの対策に努めるべきだ。

②まちづくり道路改良工事における新村上地線整備について、多くの住民が利用するしらさぎ苑への交通利便性向上のためにも、新村上地線の井柳川対岸側の道路整備を急ぐべきだ。



③コミュニティバスは、利用者数が減少しているとのことであるが、コロナ禍における地域の足として三密を避け運行することが困難な状況にあるため、今後は住民の買い物弱者対策として「とくし丸」など移動販売車事業に早急に取り組むべきだ。

④地域おこし協力隊の活動について、5名がその任期を終了し、今後も町内で起業等、活動を続けていくとのことであるが、当該協力隊員と一緒に活動していく町民を募り、その活動をサポートしていくことにより、町の活性化につなげていくべきだ。

⑤露地野菜モデル栽培支援事業補助金について、町内誘致企業の必要とする品種を町内より、より多く確保するためにも新規就農者が取り組みやすい環境整備や圃場の確保、営農指導等に積極的に取り組むことを望む。

⑥現在駐車場として利用している土地開発基金繰出金にかかる中原駅西側土地開発基金所有地について、定住施策における住宅等開発適地であるので、隣接する踏切や道路の拡幅等と併せ、有効利用を検討すべきだ。

（２）下水道事業特別会計予算〈全員賛成〉

①公共下水道事業については、遅延なく計画どおり進捗するよう、確実な事業推進を図るべきだ。

（３）工業用地取得造成事業特別会計予算〈全員賛成〉

（４）住宅用地取得造成事業特別会計予算〈全員賛成〉

民生福祉常任委員会 当初予算審査の結果及び所見（抜粋）

（１）一般会計予算（分割付託分）〈賛成多数（賛成３、反対１）〉

①待機児童対策事業では待機児童解消のため保育所等の施設整備や保育士等の確保等取り組まれている。また、本年４月にかなさ秋桜保育園が開園するが、未だに待機児童は発生している。待機児童、潜在待機児童ゼロを目指したさらなる取り組みを望む。



４月開園のかなさ秋桜保育園

②ひとり親家庭等医療費助成金は、ひとり親家庭の一時的な経済的負担、申請負担軽減および利便性向上のため、償還払いから現物給付方式への早期変更を検討すべきだ。

③子どもの医療費助成事業および予防接種事業の財源は、一部ふるさと寄附金基金特別会計繰入分から財源充当されているが、ふるさと寄附金基金特別会計からの財源充当がなくても一般財源でしっかりと対応できる財政運営の体制を十分に講じるべきだ。

④新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業について、町民への周知および速やかな実施を望む。

⑤令和３年度の新規事業として、だ液によるがんリスク検査を医療機関へ委託し、現物給付により費用の助成を行う。がんの早期発見、早期治療、重症化予防に有効な手段と考えられるため推進を図るべきだ。

⑥本年４月１日付けで開設予定のメディカルコミュニティ推進室へ連携企業からの出向職員（管理栄養士、理学療法士）の業務体制・業務内容等、必要性を明確にすべきだ。

（２）国民健康保険特別会計予算〈全員賛成〉

①令和３年度から特定健診は、コロナ禍における三密回避の対策と待ち時間の解消を図るため完全予約制で行われる。特定健診は生活習慣病の予防、重症化予防対策、また、病気の早期発見、早期治療による医療費抑制のために不可欠である。受診率のさらなる向上に努めてほしい。

（３）後期高齢者医療特別会計予算〈全員賛成〉

①今後、被保険者数の増に伴い医療費増加が見込まれるため医療費の適正化に努めてほしい。

ふるさと寄附金事業特別委員会 当初予算審査の結果及び所見(抜粋)

(1) ふるさと寄附金基金特別会計予算〈賛成多数(賛成3、反対1)〉

①ふるさと寄附金を活用した事業については、寄附者が希望した用途を尊重し、明確かつ効果的な活用に努めるべきだ。

②ふるさと寄附金に係る新制度では、返礼品は寄附額の3割以下の地場産品とする基準とされている。ふるさと寄附金の獲得には、新しい魅力ある地場産品の返礼品開発が必須と思われるが、公民連携、関係団体との協力を図り努力すべきだ。



③広く町民に寄附受入れの実績、寄附金充当事業の実績、効果等をホームページ・広報紙等により明らかにすべきだ。

④返礼品取扱業者については、町内産業の振興及び地域活性化に繋げるためにも募集要項を示し、他市町同様広く公募すべき。また返礼品の種類、件数、金額についてもホームページ・広報紙等により明らかにすべきだ。



⑤地区安全安心いきいき特別交付金事業については、交付金額を1地区300万円に見直され、対象事業も幅を広げ、コミュニティの醸成に寄与する事業とされている。町民に対して適正な情報提供を行うとともに、明確な基準、要綱を制定し、効果的な事業活用の推進を図るべき。また、交付金額の配分方法についても、地区の規模の格差を考慮し、従来の均等割に加え、人口割、面積割等の算定方法の追加も検討すべきだ。

⑥ふるさと寄附金基金繰入金のうち、1億5,754万6千円は、前年度までに積立てたふるさと寄附金基金を取崩し繰入を行い、11億5,558万8千円を一般会計へ繰出を行っている。本年度ふるさと寄附金は、30億円予算計上されているが、新型コロナウイルス感染症の影響も考慮し多くは望めない状況も想定される。ふるさと寄附金基金の取崩し、財源充当についても、計画的な行財政運営と財政の効率化を十分に図られたし。

一般質問 町政を問う

一般質問とは、定例会において議員が町の行財政全般について、町と政策討論するものです。令和3年第1回定例会の一般質問は9人が行いました。

各議員のページには、『QRコード』と『SDGsの17目標のロゴマーク』を掲載しています。QRコードからは録画映像をご覧いただけますので是非ご利用ください。

(掲載は登壇順)

番号	議員	質問要旨	頁
1	8番 古賀 通	1. 新型コロナ予防ワクチン接種の計画について 2. 子育てプラザ「ティアラ」支援中止経過	11
2	9番 園田 邦広	1. 新型コロナワクチン接種について 2. コロナ感染症対応地方創生臨時交付金について	12
3	7番 牟田 秀文	1. 交通安全対策について 2. 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業について	13
4	4番 本村 鶴夫	1. 天建寺団地建替事業について 2. 町の財政状況について	14
5	15番 益田 清	1. メディカルコミュニティセンターのオープンにあたって 2. ふるさと寄附金基金について	15
6	2番 目野さとみ	1. 35人学級制度導入について 2. 避難所開設の初動活動について	16
7	5番 中尾 純子	1. PCR検査対策 2. 少人数学級対策 3. スクールサポーターの配置	17
8	3番 岡 友清	1. 三根校区天建寺町営住宅建て替えについて 2. 町としてのSDGsの取り組みについて	18
9	6番 大石 安弘	1. 新型コロナウイルスについて 2. 町財政について	19

新 議員の紹介

令和2年3月より1名欠員となっていた町議会議員補欠選挙が2名の立候補者により4月4日に実施され、大曲隆則氏が当選されました。

任期は、現職議員と同様の令和4年2月28日までとなっています。





古賀 通議員



問

コロナワクチン接種計画はどうなっている

答

一日も早く安心して受診できるように検討中

してくれる安心な場所が町とのアドバイザー委託契約を終了することになった。その経過は。

答 8年間にわたり

町の子育て応援団として貢献していただき感謝している。今までのことを参考に新たな子育て支援事業を計画させていただき、一旦終了させていただきます。

問 二十一世紀に入り初のコロナ感染、この一年で生活環境は激変した。給付金やGOTOキャンペーン、夜間営業規制などで行事もイベントも中止と巣ごもりの非日常が続き三密が徹底された。

この間、医療関係者の皆さんの献身的な働きに心からの敬意と感謝を申し上げます。ようやくワクチン接種が始まり収束へ一歩進んだが計画はどうなっているのか。

答 2月3日付で対策室を設置し、基本スケジュールの検討を進めている。4月26日の週から全国的に65歳以上の高齢者への接種が開始される予定。

接種場所は、原則町内で、町内の12の医療機関での個別接種を基本とし、必要に応じて集団接種(こすもす館)を実施できるよう医師会等との連携を図っている。

例外として町外の病院等に通院、入院の方や町外の施設に

入所の方は町外の医療機関や入所施設等での接種が可能。

高齢者の2回の接種終了は6月末から7月いっぱいまでかかるのではと思うがワクチンの供給次第。



問 町挙げて初の一斉予防接種は個々の疑問や問題も発生すると想定されるため丁寧に分かりやすく対応することが望まれるが体制は。

答 新型コロナウイルスに関する電話相談窓口(コールセンター)を設置。接種券配付時に予診票、接種できる医療機関、注意事項、予約の方法などを同封。

既往歴、アレルギー等は、予診票の既往歴欄に記入。接種はあくまで本人の希

子育てプラザ「ティアラ」の支援中止

望、同意に基づくため、受けていない方への差別的発言や誹謗中傷等が無いよう啓発活動にも取り組む。送迎は、免許返納者、移動手段が無い方、障がいをお持ちの方等業務委託を協議していく。

問 子育て支援のまちとして若いママたちの相談と交流の場「ティアラ」は町内外から好評だ。子育て中の悩みと心を癒



子育てプラザ「ティアラ」



園田 邦広 議員



問

コロナワクチン接種対応は万全か

答

職員は全員一丸となって国難に取り組む

問 みやき町の接種対象者は何人いるのか。

答 令和3年1月末現在の接種対象者は次のとおり。

75歳以上	4,883人
65歳～74歳	4,323人
16歳～64歳	13,214人
合計	22,420人

問 接種券はいつ頃個人に発送するのか。

答 3月下旬頃から65歳以上の方から順次発送する。

問 予約はどこで対応するのか。

答 ワクチンの供給状況によって接種計画を策定し、予約を受け付ける。全戸案内を配布する。また、3月11日よりコールセンターを開設し住民の問い合わせに対応している。

問 町内の医療機関に協力を求めることになっていくが、接種できる医療機関を早く知らせるべきではないのか。

答 町内の医療機関に協力を求めることになっていくが、接種できる医療機関を早く知らせるべきではないのか。



接種ワクチン



接種状況

答 現在、町内12の医療機関から協力の回答を得ている。接種券を発送する際、接種できる医療機関等を一覧表にて知らせる。

問 各自の接種はかかりつけの医療機関を希望されると思うがその対応は。

答 できるだけかかりつけでお願いしたい。

問 接種時期はいつ頃になるのか。

答 4月12日の週より町内の高齢者施設を優先に接種を開始する予定。

地方創生臨時交付金について

問 小売販売事業者および専業農家支援簡易販売所の整備運営については、当初の計画ではテナナを設置し、コロナ禍



屋外交流スペース

で苦しんでいる事業者・農家の支援を行うため、この臨時交付金を活用して一時的に早く実行していくための事業である。

問 昨年8月5日に臨時議会を開き事業を行いたいと提案され、その意欲を見せられ議会としても時期を得た提案と判断し全員賛成で可決し



6月オープンのメディカルコミュニティセンター内で販売予定スペース

問 この事業は6月にオープンするメディカルコミュニティセンターで予定されているが、これは当初の計画から一歩後退したものと言わざるを得ない。

答 この事業は集客を伴うものであり、感染拡大防止の観点から開催は困難と判断した。

問 たものである。にも関わらず今日まで事業が執行されないまま令和3年度に繰越しているのはなぜか。



牟田 秀文 議員



問

こすもす館南交差点から江口北橋間の未整備歩道の状況は

答

相続協議が進まず買収に至っていない

渉に臨みたい。

問 千栗交差点北側から白壁地区の通瀬川バス停西側接続部分までの1.3kmの歩道の進捗状況は。



答 水路にふたを施し歩道代わりにして生活の利便性向上と交通安全対策を行った。餃子の王将西側道路との合流点の三差路西側の家屋が空き家との情報があるので所有者と会い交

答 田の所有者は亡くなられ相続の協議が進まず現在も用地の買収契約に至っていない。相続人と継続して連絡を取り、速やかに用地の買収、拡幅整備が行われるよう県と連携していく。

夕の交通量が増加しており、町道県道の

始すべく、準備作業を進めている。

問 町道中津隈線、こすもす館南の信号機より市原までの歩道は自転車通行可能の標識はあるが、県道神埼北茂安線のこすもす館南から加茂交差点付近まで通行可能の標識がないが、自転車は歩道を通行可能か。

「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」事業について問う

この事業を実施することとなった背景と町の医療費、保健事業と介護予防事業を含めた現状について、また、この事業の目的・内容、効果と目標達成のため、どのような方を対象とするのかを伺う。

問 人生百年時代を見据え、国は市町村に高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施するよう求め

答 高齢者の保健事業には、介護が必要となる前段階に着目した疾病予防に介護予防の要素が含まれており、国保、後期高齢者医療保険およ

3年度から事業を開

【対策】健康教育・健康相談、保健指導、生活機能向上に向けた支援などを行う。

び介護保険の縦・横断的な連携等の取り組みが重要であり、そのことが事業実施の背景となっている。令和3年度後期高齢者医療保険における療養給付費などの医療費見込額は、約48億8千8百万円に上り、数年後は医療費高騰のピーク期を迎えると思われる。【事業の目的と内容】高齢者の健康寿命の延伸や地域間格差の解消を目的としており、健康寿命の延伸は医療費の縮減にも直結していく効果もある。【対策】健康教育・健康相談、保健指導、生活機能向上に向けた支援などを行う。



本村 鶴夫 議員



問

天建寺団地建替事業の進捗状況は

答

説明会を開催し安全かつ円滑に事業を進める

問 近くに三根東小学校があり、付近の道路は児童の通学路となつているが、PTAや地元との話し合いはできているのか。

答 細心の注意を払い、安全かつ円滑に事業を進めたいと考えている。

問 工事車両の進入口等や道路の状況は。

答 工事車両の通行経路は、国道264号の三根東小学校交差点から南下し、建設予定地の北側道路の町道南島安永線から建設用地へ進入するルートが最善と考

【答】 令和3年度当初予算の可決後に地元土井内地区および天建寺団地の入居者への説明会を開催予定。説明会や教育委員会の意見を傾聴し、工事期間中の安全確保はもちろんのこと、近隣住民の通行にご迷惑をおかけすることのないよう

歩道幅員は2.4m、

あり、十分な幅員が確保されている。工事期間中、工事車両

は最徐行を徹底させ、安全を確保する。

問 昨年の台風10号のような大型台風が来たため、4、5戸ぐらい近くの住民の避難場所として利用できるか。

【答】 公営住宅の制度の趣旨から、避難場所として常時空室を確保することは極めて困難である。しかし、災害等で住宅を失ったり、住むことが危険等、現に住宅に困窮されていることが明らか場合は

天建寺団地に限らず町営住宅の空室があり、当事者が希望されれば一時的な避難場所として利用できるような支援は可能だと考えている。

町の財政状況は

問 今年度のふるさと寄附金の状況、令和3年度の見込みおよびふるさと寄附金基金の残高の推移は。

【答】 令和2年7月から再開し、令和3年2月末現在で約22億6400万円という

多額のご寄附をお寄せいただいた。大きく伸びた要因は、返礼品の充実、ふるさと納税サイトとの連携、みやぎ町のPR、情報発信等を積極的に行ってきた成果であると思つている。令和2年度末のふるさと寄附金基金の残高見込みは56億7935万3千円、令和3年度末の残高見込みは55億2180万7千円。限りある財源であるので有効かつ大切に活用し、住民サービスの維持向上を図っていく。また、これまで同様、ふるさと寄附金の積極的な推進を図り、財源の確保に向けてより一層努力していきたい。



現在の天建寺団地と建替予定地



益田 清 議員



問

メディカルコミュニケーションセンター「診療所」説明責任果たしていない

答

健康で予防医療を発信する施設

は。

本町の場合は他町と極めて違うのが、メディカルコミュニケーションセンターに指定された寄附が充てられていく流れである。一病院の利益、企業の利益のために自治体がまるごと奉仕するシステムとなる。これは地方自治法に則れば町がする仕事ではない。「住民福祉の向上に反する」地方自治法に真逆の町政ではないか。公債費について伺う。

答 メディカルコミュニケーションセンター建設事業債約20億円。返済に充てる財源約9千万円（25年間）を毎年充てていくことになる。

問 寄附金は過剰見込みではないか。3年度当初は骨格予算、6月議会で政策予算が膨らむので

予算となっている。ふるさと寄附金頼みの予算編成で制度が廃止縮小されれば、町政が成り立たなくなるのでは。

答 令和3年度は寄附金を30億円（経費除く実入りは15億）を見込んでいた。一般会計繰り出しは約11億5千万円である。

問 61億1千万円のうち14億7千万円がメディカルに充てる基金で、あとの残基金（貯金）は約46億円で大きく目減りする。毎年一般会計へ17億〜20億円繰り出している。子ども医療費無償化・給食費補助予算、予防接種事業、農地の維持管理、保全の多面的機能支払い交付事業、教育費の事務局費、そして公債費の元利分が含まれている。寄附金の収入をあてにしないと成り立たないみやき町の

関係に充てられる項目と基金はどのようなになっているか。

答 ふるさと寄附金の寄附項目は28項目あり、そのうち統合医療関連は、①市村清先生を顕彰する事業②統合医療を核としたまちづくり③

（株）DHCと社会医療法人天神会とのみやき健康長寿のまちづくりに関する事業の3項目であり、その3つ合わせた令和元年度末の基金残高は約14億7千万円である。

ふるさと寄附金頼みの町予算編成からの脱却を

防医療を発信する施設を目指したい。

問 メディカルコミュニケーションセンター2階の診療所については最初から案も説明もない。幸伸会の「みやき統合医療クリニック」というが、昨年11月の天神会法人部長の説明で初めて知った。町長自身全く説明責任を果たしてなく議会へ説明すべき。

答 あくまでも目的は、町民皆さんが仲良く楽しく100歳以上まで暮らしていただく、病気になる健康づくり、予

問 平成26年度から始まったふるさと納税制度、寄附総額は令和元年度決算では265億8605万1千円となっている。経費とこれまで使ったお金を差し引くと基金（貯金）は61億1千万円となる。寄附者は寄附指定項目を選定し寄附を行うがメディカル



目野さとみ 議員



問

国が少人数学級導入を決定！デメリット対策は？

答

教員のスキルアップ研修会を実施！

問 少人数学級の決定は、教員にとって、子どもたちと向き合う時間が増え、いじめや不登校などに対応するきめ細やかな指導の充実が可能となると考える。本町の小学校は35人学級がほとんどである。国が導入する35人学級制度と本町の現状をどのように認識しているか。

答 35人学級制度と本町の現状を比較した場合にメリットとデメリットがあると考えます。メリットが低減してはならない。デメリットの対策をどう考えているか。

問 各地で自然災害が続き、しかも激甚化・頻発化している。みやき町に災害が発生した場合は各区の公民館が避難所になり区長・職員が避難所を開設する。もし、何等かの事情で区長・職員が避難所開設できない場合、誰かが避難所を開設しなければ現場は大混乱する。誰が来て避難所開設準備をスムーズに行える体制についての考えは。

答 本町は教諭補助、学校生活支援員、不登校対策支援員、部活動支援員、ICT支援員など多くの予算をいただき、人員を配置し、児童生徒の教育に注力している。デメリットとして、多くの教員を確保することにより、教員の質の低下が考えられる。指導力向上策として、相互授業参観やスキルアップ研修会を実施している。



避難所開設の初動活動

問 各地で自然災害が続き、しかも激甚化・頻発化している。みやき町に災害が発生した場合は各区の公民館が避難所になり区長・職員が避難所を開設する。もし、何等かの事情で区長・職員が避難所開設できない場合、誰かが避難所を開設しなければ現場は大混乱する。誰が来て避難所開設準備をスムーズに行える体制についての考えは。

答 避難所の開設準備については、防災担当が主体的に行い、避難所運営については、全職員で対応を進めている。住民の皆さまを含めた避難所運営を行うスタッフ等に関しては、災害によっては長期間にわたって避難所開設が必要となる場合を想定し、住民の皆さまのご協力をいただくとともに考えられ、今後の課題

とついで検討しよう。

問 各地区の公民館に誰もが開設作業を進められるよう初期活動ボックスに、必要な手順を分かりやすくサポートするアクションカードの設置が効果的と考えるが。

答 町の避難所用として準備している初動ボックスの準備品の例を示し、地区の避難所開設が混乱なく行えるよう検討する。

避難所開設アクションカード

【初動期避難所開設】

自主防災組織・避難所要員向け

- 「アクションカードとは…」緊急時において、自分が何をして良いか分からなくなることを防ぐ「パニックの防止」と「最初の一步の掲示」をする道具である。
- 活用基準 主に大規模地震発生時に使用するが、風水害（大雨・洪水・台風）等の場合も使用する。
- 活用方法 避難所活用まで：「避難所アクションカード」を使用

〇〇〇町



中尾 純子 議員



問

PCR検査を受けたい方に補助を

答

PCR検査は必要な方のみ実施

問 PCR検査を受けることのできる医療機関は。

答 医療機関名については公表されていないが、県内298カ所、みやき町内9カ所の医療機関で検査を受けることができる。

問 一般的に、個人で検査を受ける場合の検査場所と、この場合は自己負担になるので町からの補助はできないか。

答 住民が何らかの症状を訴えられた場合はかかりつけ医に、かかりつけ医がない場合は、受診・相談センターと県の指示があっている。コロナの疑いがある場合、PCR検査を受けることができる。

種。今のやり方は後追い検査になっている。

答 コロナにかかっているのかの検査がPCR検査。現在、ワクチン接種に向けて体制整備中。



みやき町北茂安保健センター



みやき町新型コロナウイルスワクチン
予防接種医療機関連絡調整会議

答 5年生の1学級のみ。特別支援学級児童を含めると8学級。

問 5年生の1学級にあと1人加配すれば少人数学級となる。その考えはないのか。

答 今の5年生が6年生になった場合、学校行事も増えてリーダーとなる学年である。加配教員により1学級増える予定である。

少人数学級対策

問 35人を超える学級数は。また、支援学級児童を含めた場合、35人を超える学級数は。

スクール・サポート・スタッフ

要望 スクール・サポート・スタッフ

については、令和3年度の当初予算に計上されている。各学校1名の7名。人材確保に努め、事業がスムーズに開始できるようにするとのこと、努力すべし。





岡 友清 議員



問

天建寺町営住宅建替着工は

答

4月に造成1期工事を発注

問 三根校区天建寺町営住宅の建替工事については、さまざまな手続きが必要であるが、今年度の進捗状況について伺う。また、家賃がどうなるのか、高齢者の入居階数、駐車場の問題について伺う。

答 令和3年度当初予算を可決いただいたら地区説明会および入居者への説明会を予定している。令和3年度工事に着手していき、4月から造成1期工事、9月

に造成2期工事、11月に住建設工事の入札を行う予定である。令和4年9月に外構植栽、附带工事および町道拡幅工事を発注したいと考えている。令和5年3月に入居者の方に引越しをしていただき、4月に供用開始のスケジュールで事業を進めていきたいと考えている。

家賃については、現在の家賃はさまざまな係数により算出されており、新築



天建寺団地建替予定地

になった場合は、現在の係数が高くなるため家賃は必然的に上昇すると考えられる。まず、今までの家賃と新築後の家賃の差額を6等分し、一年目は今までの家賃に差額の6分の1

を加算し、二年目は6分の2を加算してという具合に五年間で段階的に上がり、六年目から本来の家賃の額になる。

また、入居されている高齢者世帯の低い階への希望および駐車台数の希望等については、極力ご希望に沿うようにしたいと考えている。

答 分野の17のゴールから構成されている。なかなか、理解が難しいが説明をお願いする。

問 貧困や格差、気候変動など課題解決に向け、多岐にわた

SDGsの町の取り組みについて伺う

答 2015年9月の国連サミットにおいて採択され、誰一人取り残さない持続可能で多様性のある社会の実現のため2030年までに達成を目指す17の世界目標である。

私どもも行政の使命は理念に通じるものであるとの視点に立ち、印刷物、看板などSDGsのPRに

努める。また、学校給食や保育園給食等の食品ロスをなくすよう残食の多い献立や食材を把握している。好き、嫌いなく残さずおいしく食べられるよう食材、味付け、盛付けや配食量など工夫している。これからも食品ロスをなくすよう、推進に向け取り組んでいきたいと考えている。





大石 安弘 議員



問

新型コロナウイルス予防策と

町内事業者等への支援は

住民への周知とワクチン接種に

万全な体制で臨む

答

策や疲弊した事業者
および困窮する町民
に対しての支援につ
いてお聞きする。

答 昨年3月以降、

問 昨年に引き続き
新型コロナウイルス
が猛威を振るついで
いる。その影響による
被害は、想像を超え
るほどに拡大し、世
界中の感染者数も一
億人を超え、死者数
も三百万人に迫ろう
としている。一方、
国内において、首都
圏では再度緊急事態
宣言が発令された。
また、地方において
も不要不急の外出制
限により経済活動に
大きなダメージを与
え続けている。
そこで、みやき町
における感染予防対

15回の全戸チラシ配
布等により感染予防
対策の周知を行って
きた。また、マスク
や消毒液の提供、全
地区に非接触型体温
計を貸与。2月3日
には新型コロナウイルス
ワクチン接種室を設
置。飲食店テイクアウト
支援金事業647万
円。応援クーポン券
1億741万円。多
くの事業者の方は、

国の持続化給付金お
よび町の経営支援給
付金の交付を受けら
れたことで、売上減
少事業者給付金の執
行は低調だった。

問 待望のワクチン
が国内にも入荷され
その効果に大いに期
待を寄せられている
が、ワクチンの接種
計画等についてお尋
ねする。



ワクチンを保管する冷凍庫

答 全国の市町村に

ワクチンが供給され
るのは4月下旬。4
月に接種券を配付
し、65歳以上の高齢
者より一回目を接
種。3週間経過後に
二回目を接種。その
後、高齢者施設の従
事者、基礎疾患者、
64歳以下の者の順で
ワクチンが届き次第
実施していく。また、
3月11日付けで相談
窓口コールセンター
を設置し、住民の相
談や疑問に対応して
いく。

町財政について伺う

問 合併特例債や
ふるさと寄附金等の
収入増により、予算
規模が拡大すること
となり、基礎的財政
力が分かりづらくな
った。合併特例債の
インフラ整備等によ
り、生活の利便性は
向上し、また、平成
30年度の高額なふる
さと寄附金により、
子育て支援他の充実
が図られているが、
財政力の健全性につ
いて伺う。

答 合併特例債の

発行額は122億円
で、元利償還額の3
割相当額については
減債基金より繰り入
れし計画的に償還に
努めている。財政健
全化判断比率のうち、
公債費（元利償
還金と一時借入金
の利子）による町財政
への負担の程度を示
す「実質公債費比
率」は18%以上にな
ると適正化計画を策
定し許可が必要とな
るが、本町では、30
年度11.8%、令和
元年度決算では10.
9%となり健全な範
囲で推移している。
ふるさと寄附金基金
特別会計繰入金は、
令和3年度11億56
00万円を計上。今
後、歳出の削減に努
力し財政の健全化を
図る。

『見えない学力』を身に付ける

校則は一切なし。あるのは「たったひとつの約束」である「自分がされていやなことは人にしない、いわない」のみ。破っても罰せられるのではなく、やり直せばいい。

ある小学校の『見えない学力』の取り組みです。『見えない学力』として掲げた4つの力①人を大切にできる力②自分の考えを持つ力③自分を表現する力④チャレンジする力。グングン伸び結果として「見える学力」も向上しました。危機の時代『見えない学力』の4つの力は義務教育を終えた大人にも求められるものではないでしょうか。



TeaRa(ティアラ)

子育て支援終了

三根庁舎二階広場に子育て支援事業として、子どもと共にくつろげる居場所づくり、ママたちの相談事、子どもと一緒にイベント・勉強会などさまざまな事業に取り組みでございましたが、3月31日を最後に終了されました。これからは、メディアカルコミュニケーションセンター内で専門性の高い子育て事業に拡大し、継続されます。



～議会を傍聴しませんか～

令和3年 第2回みやき町議会定例会(6月)会期の予定

6月8日(火)～ 17日(木)

一般質問 6月10日(木)、11日(金)、14日(月)



本会議の開会は午前9時30分です。

※この会期日程等は予定であり、変更となる場合があります。

最新の日程はみやき町ホームページまたは議会事務局(94-5728)でご確認ください。

編集後記

新型コロナウイルス感染症拡大が発生して一年が過ぎました。

国および各自治体は懸命に感染防止策を行っていますが、いまだ収束する気配はなく新たに変異ウイルスが発見される等脅威となつていきます。

感染を防止するには今一度一人ひとりが基本に立ち返り三密を避け、不要不急の外出を自粛、マスクの着用、手洗いを徹底的に行う努力が必要だと思えます。

ワクチン接種も始まりました。近い将来には以前のような生活ができるようになると思えますので、それまで皆さん頑張りますよ。(園)

◎広報編集委員会

委員長	松信 彰文
副委員長	目野さとみ
委員	園田 邦広
委員	古賀 通
委員	中尾 純子
委員	田上 幸男

発行/佐賀県みやき町議会 編集/議会広報編集委員会

〒849-0101 佐賀県三養基郡みやき町大字原古賀 1043 TEL 0942-94-5728